

2022年8月改定

DT-E1

DAYTONA TALK SERIES
WIRELESS INTERCOM

取扱説明書 商品No.99113 / 99114

この度はデイトナ商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

機器の取り付け・操作・
ファームウェアの更新
方法は、動画でも解説
しています。



DAYTONA[®]

目次

確認事項

安全上のご注意	4
本商品の特徴	10
商品内容	
名称と機能	11
構成部品	12

ご使用前の準備

準備	
充電を行う	14
電源のON/OFF	15
取り付け	
取り付け前の確認	16
ヘルメットへの取り付け	18

基本的な使い方

ペアリングとは	24
Bluetooth機器ペアリング	
スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする	25
スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する	26
DT-E1同士のペアリング	27
他社/他種インカムペアリング	
他社/他種インカムとペアリングする	29
他社/他種インカムと1対1でペアリングする	30
他社/他種インカムと2対2でペアリングする	32
インカム通話	
インカム通話を開始/終了する	34

使いたい方

電話を使う	37
音楽を楽しむ	39
ナビやレーダーの音声を聴く	40

機能

機能

バックグラウンドミュージック機能	41
ミュージックシェア機能	43
音声認識機能(Siri)	45

アップデート

ファームウェアアップデートと機能調整

設定ツールのダウンロード	47
ファームウェアのダウンロード	48
ファームウェアのアップデート	49
機能調整	51

その他

その他

アナウンス音量調整	54
バッテリー残量アナウンス	55
各種リセット方法	56
プロファイルとは	57
補修品・オプション品	58
LED点灯パターンと操作	60

故障かな?と思ったら	62
製品仕様	63
さくいん	64
保証規定	66




- Bluetooth® は、Bluetooth SIS, Inc.の登録商標であり、デイトナはライセンスに基づいて使用しています。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。iPhoneの登録商標はアイホン株式会社とのライセンスに基づき使用されています。
- SiriはApple Inc.の登録商標です。


安全上のご注意

ご使用前に必ずご確認ください。



- ※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用したことによる事故や損害について、当社は一切の責任を負いません。
- ※商品の保証については保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け・取り扱い方法および点検整備に関する重要な事項を次のシンボルマークで示しています。

 危険	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る差し迫った危険が想定される場合を示してあります。
 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	 水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機内・空港敷地内・中継局周辺・病院内では絶対に使用しないでください。電源も入れないでください。運行の安全・無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。 ・ 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器・心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。 ・ 周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。 ・ 雷が聞こえたら、DT-E1の電源をOFFにして速やかに安全な場所に避難してください。落雷に遭う恐れがあります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分解・改造・修理をしないでください。火災・怪我・感電・故障の原因となります。修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。




安全上のご注意

⚠ 注意



実施

- ・使用中や保管時に異臭・発熱・変色・変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・高温多湿な場所や熱源の近くで使用しないでください。本体の変形から発熱・発火・破裂・感電につながる恐れがあります。
- ・音量は控え目の設定を心がけてください。大音量での使用は、難聴の原因や鼓膜の損傷につながる恐れがあります。
- ・外気温が低いときに室外から室内へ移動すると、本体内部に結露が発生することがあります。その状態のまま使用すると、発熱・発火・破裂・感電・故障の原因となります。
- ・自動ドアや火災報知機付近での使用は控えてください。自動ドアや火災報知機の誤作動の原因になります。
- ・本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所をご利用ください。
- ・本体は走行中に落下しないようにヘルメットへ確実に取り付けをしてください。
- ・本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ・油類等を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- ・本体ケーブル・マイクのフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。
- ・本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- ・接続コネクタは、コネクタを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。

 <p>実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本商品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。 ・ 本商品を走行中に操作しないでください。操作する場合は、安全な場所に止まってから操作してください。 ・ 本商品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。 ・ 運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。
 <p>水ぬれ禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本商品は防水性を考慮した構造となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱・発火・破裂・感電・故障の原因となります。 ・ 浸水による故障は保証期間内でも保証対象外となります。 <p>※本商品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。</p>
 <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込むなど、事故の原因となります。 ・ 部品の交換修理・補修部品の購入につきましては、販売店にお問い合わせください。 <p>※本商品の故障による代替品の貸出しは一切行っておりません。</p> <p>※本商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。</p>

安全上のご注意

リチウムイオンバッテリーについて

本商品は充電式リチウムイオンバッテリーを使用しています。
下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

危険

- ・ 分解・改造をしないでください。リチウムイオンバッテリーには危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオンバッテリーが発熱・破裂・発火する原因になります。
- ・ ストープなど、熱源のそばに放置しないでください。発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ 火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ 水・海水・ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオンバッテリーに組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流・電圧で充電され、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが変形したり、保護機構が破損する可能性があり、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ 高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが変形したり、組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流・電圧で充電される可能性があり、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ 液漏れして目に入った場合は失明の恐れがありますので、擦らずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。

警告

- ・ 指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられるよことになって過大な電流が流れ、液漏れ・発熱・破裂・発火の原因となります。
- ・ 電子レンジや高圧容器などに入れないでください。急な加熱により、密封状態ではなくなるため、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ リチウムイオンバッテリーから液漏れや異臭がする場合、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂・発火する原因になります。
- ・ リチウムイオンバッテリーは消耗品です。バッテリー動作の駆動時間が短くなった場合は、寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・液漏れの原因となります。
- ・ リチウムイオンバッテリーを廃棄したり、リサイクルBOXに出す際は、セロハンテープなどで電極をおおい、絶縁してください。電極が他の金属に触れると、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ リチウムイオンバッテリーを廃棄する際は、お住まいの自治体の規則に従って処理してください。

注意

- ・ 濡れたリチウムイオンバッテリーは使用しないでください。故障・感電・発熱・発火の原因となります。
- ・ 濡れた手でリチウムイオンバッテリーを触らないでください。感電の原因となります。
- ・ 通電中のリチウムイオンバッテリーに長時間触れないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となります。
- ・ リチウムイオンバッテリーは、直射日光の当たる場所や炎天下に長時間駐車した車内など、高い温度になる場所で充電しないでください(充電温度範囲:0℃～+45℃)。高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱・破裂・発火の原因になります。
- ・ 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また機器に付着した場合は、液に直接触れずに拭き取ってください。

本商品の特徴

DT-E1を使ってできること

スマホ接続

Bluetoothでスマートフォンと接続し、電話も音楽も簡単操作で楽しめます。



音楽・通話の同時使用

音楽やナビを聴きながら、インカム同士の通話ができます。



音楽シェア

1台のミュージックプレーヤーの音楽を、2人で同時に共有して聴くことができます。



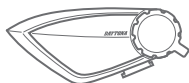
最大4人通話

4人で通話ができます。距離が離れて通話が切れても、通信圏内に戻れば自動で通話に復帰します。



大きいボタン

グローブをしたままでも操作しやすいよう、ボタンサイズを大きく設計しています。

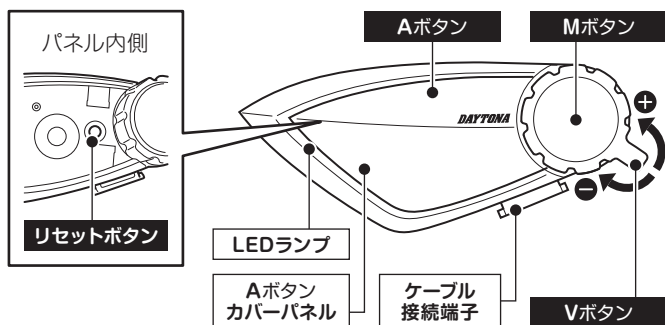


カンタン通話発信

よく使用する電話番号を、最大3件まで登録して発信することができます。



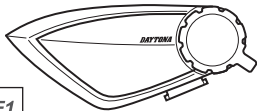
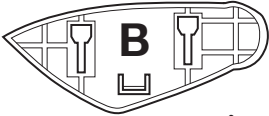
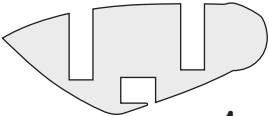
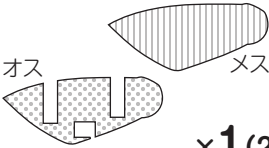
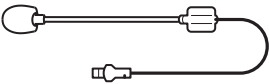

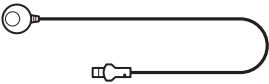
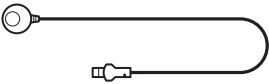
名称と機能





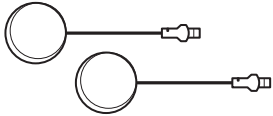
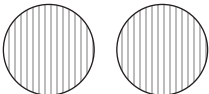
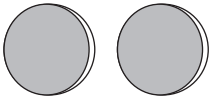
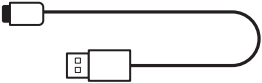


A ボタン	インカムのペアリング、通話の開始/終了に使用します。
M ボタン	スマートフォンやレーダー探知機などのペアリング、スマートフォンの操作、音楽の再生/停止に使用します。
V ボタン	ボリューム調整、音楽の曲送り/曲戻しに使用します。
Aボタン カバーパネル	黒色のパネルが標準装備されています。 ※オプションにてお好みの色に着せ替えることができます。詳しくはP58参照。
LEDランプ	内蔵バッテリーの充電状態や各種操作の結果を表示します。詳しくはP60参照。
ケーブル接続端子 (USB Type-C)	充電、パソコンとの接続に使用します。
リセットボタン (強制終了)	ボタン操作できなくなった場合(フリーズ)に使用します。詳しくはP56参照。 ※ペアリング情報は削除されません。

構成部品

1～**15**が商品の構成部品です。
最初にすべて揃っているかご確認の上、ご使用ください。

<p>1 本体ユニット ※1</p>  <p>DT-E1 B シリアルシール 本体裏に貼付 ×1 (2)</p>	<p>2 ベースプレートB ※1</p>  <p>×1 (2)</p>
<p>3 ベースプレート固定用 両面粘着シート</p>  <p>×1 (2)</p>	<p>4 ベースプレート固定用 面ファスナー(オス、メス)</p>  <p>オス メス</p> <p>×1 (2)</p>
<p>5 マイク(ブーム型)</p>  <p>×1 (2)</p>	<p>6 マイク(ブーム型) 固定用面ファスナー(メス)</p>  <p>×1 (2)</p>
<p>7 マイク(ケーブル型)</p>  <p>×1 (2)</p>	<p>7 マイク(ケーブル型)</p>  <p>×1 (2)</p>

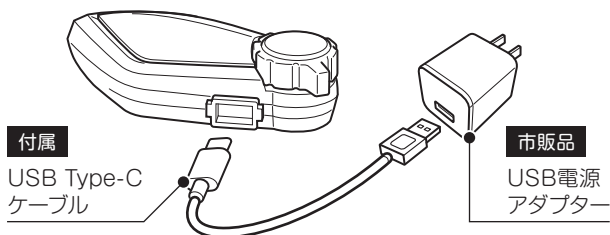
2023年以降のモデルには本体裏のシリアルシールおよびベースプレートに「**B**」と記載※1されています。「**B**」の記載のあるモデルと記載のないモデルは本体とベースプレートの互換性が無く取り付けできません。

<p>8 マイク(ケーブル型)固定用面ファスナー(メス)</p>  <p>×1(2)</p>	<p>9 Type-C スピーカーケーブル</p>  <p>×1(2)</p>
<p>10 ヘルメットスピーカー</p>  <p>×2(4)</p>	<p>11 スピーカー固定用面ファスナー(メス)</p>  <p>×2(4)</p>
<p>12 スピーカー位置調整用パッド</p>  <p>×2(4)</p>	<p>13 USB Type-C ケーブル</p>  <p>×1(2)</p>
<p>14 アルコールクリーナー</p>  <p>×1(2)</p>	<p>15 取扱説明書(本紙)</p>  <p>×1(1)</p>

※カッコ内は「2個入り商品(品番:99114)」の個数です。

※マイク、ヘルメットスピーカーには予め面ファスナー(オス)が貼られています。

充電を行う



- ・ 本商品は本体にバッテリーを内蔵しています。
- ・ 内蔵バッテリーを充電する際は、本体ユニット・付属のUSB Type-Cケーブル・市販のUSB電源アダプターをつなぎコンセントへ差し込んでください。
- ・ 充電中はLEDランプが赤色点灯し、充電完了時は青色に変わります。
- ・ バッテリー残量0%から100%までの充電時間は約2.5時間です。

⚠ 注意

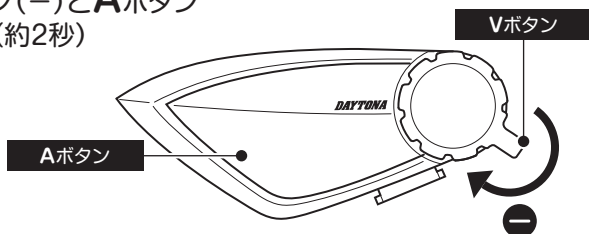
- ・ 初めて使用するときは、必ず充電を行ってからご使用ください。
- ・ 本商品にUSB電源アダプターは付属しません。市販のUSB電源アダプターをご用意ください。
- ・ 充電時間は使用する充電器、バッテリー状態により異なります。
- ・ USB Type-Cケーブルが挿し込みにくい場合があります。抜き挿しする際は、本商品の接続端子を破損させないようにご注意ください。
- ・ 充電完了(LED青点灯)のまま放置しないでください。バッテリーの寿命を縮める原因となります。

付属ケーブルの取り扱いについて

- ・ 本商品に付属のUSB Type-Cケーブルは、本体充電またはファームウェアのアップデート専用です。他の用途に使用できません。
- ・ 市販のケーブルを使用して充電をしないでください。
- ・ **【充電できない場合】** ケーブル保護のため、0.6A以上の電流がケーブルに流れると給電がストップし、LEDランプが消灯します。その場合は電源アダプターからケーブルを抜き、もう1度差し直してください。ケーブルを差し直しても充電がされない場合、機器の不具合の可能性があるので弊社までお問い合わせください。

電源のON/OFF

Vボタン(-)とAボタン 長押し(約2秒)



電源をONにする

- ① Vボタンを(-)方向へ押す。
- ② Vボタンを押したまま、Aボタンを約2秒長押しします。
- ③ 電源が入ると、LEDランプが青色に点灯します。



本体

青色ランプ点灯



音声

「電源が入りました」
「バッテリー残量は〇〇%です」

電源をOFFにする

- ① Vボタンを(-)方向へ押す。
- ② Vボタンを押したまま、Aボタンを約2秒長押しします。
- ③ 電源が切れると、LEDランプが赤色に点灯します。



本体

赤色ランプ点灯



音声

「電源を切ります」
「バージョン〇〇」
「バッテリー残量は〇〇%です」

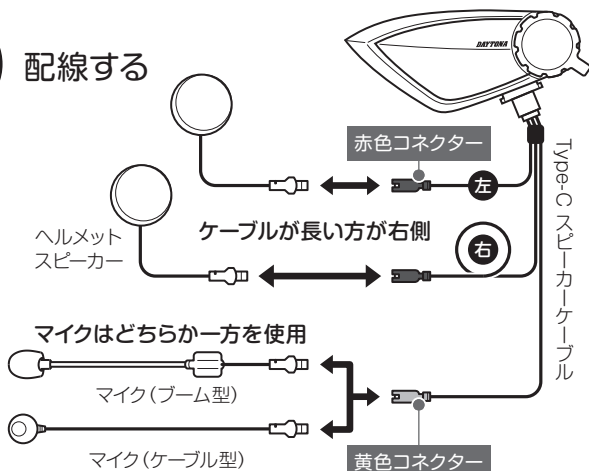
⚠ 注意

本体にはスピーカーが搭載されていません。アナウンスを確認するには、付属のType-C スピーカーケーブルと付属のヘルメットスピーカーと組み合わせる必要があります。詳しくは「取り付け前の確認」(P16)参照。

取り付け前の確認

01

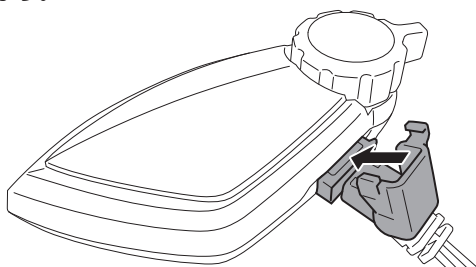
配線する



02

本体ユニットへType-C
スピーカーケーブルを取り付ける

本体ユニットのケーブル接続端子部にType-Cスピーカーケーブルを挿し込み、ケーブル側に設けられたロックで固定します。



Type-Cスピーカーケーブルの挿し込み向きに注意してください。逆向きに挿し込むとロックができません。

ヘルメットに取り付け前の事前確認です。ヘルメット上での各パーツの位置・ケーブルの長さ・スピーカーが正常かをご確認ください。

03

電源をONにする

電源を入れると、ヘルメットスピーカーから「**①**電源が入りました**②**バッテリー残量」の順にアナウンスが流れます。
→「電源のON/OFF」(P15)



スピーカーを直接耳に当て音量を確認してください。この時の音質・音量がヘルメット装着時でも同じになることが理想です。

04

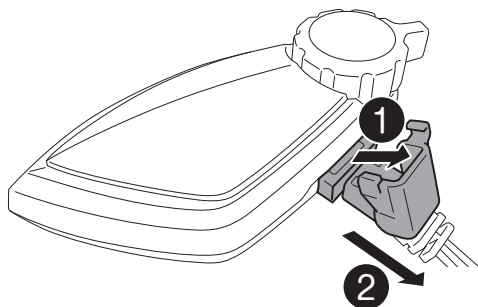
電源をOFFにする

電源を切ると、ヘルメットスピーカーから「**①**電源を切ります**②**ファームウェアバージョン**③**バッテリー残量」の順にアナウンスが流れます。→「電源のON/OFF」(P15)

05

本体ユニットからType-C スピーカーケーブルを取り外す

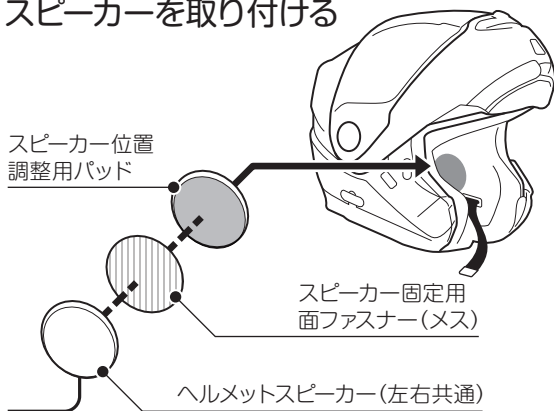
ロックを外してスピーカーケーブルの根もとを持ちながら、ケーブル接続端子から引き抜きます。



ヘルメットへの取り付け

01

スピーカーを取り付ける



- ヘルメットスピーカーを耳がくる位置にあてがいます。ヘルメットを被り、スピーカーの位置を確認します。
- スピーカー固定用面ファスナー(メス)をヘルメット内側に取り付けます。あご紐の付け根部分より少し上側の後ろ寄りを目安に貼り付けます。
- ヘルメットによっては耳との隙間(距離)が広く、音が聞き取りにくくなります。その場合は付属のスピーカー位置調整用パッドも併せてご利用ください。
- ヘルメットスピーカーを、貼り付けたスピーカー固定用面ファスナーへ取り付け、耳の穴の中心にスピーカーが来るように調整します。

※左右共に上記作業を行ってください。

POINT

- ・ジェットヘルメットなど、外部からの音が入りやすいヘルメットはスピーカーの音声が聞き取りにくくなります。
- ・音質は耳とスピーカーの位置が近いほど良くなり、遠くなると悪くなります。
- ・最適な距離となるよう調整してください。

02

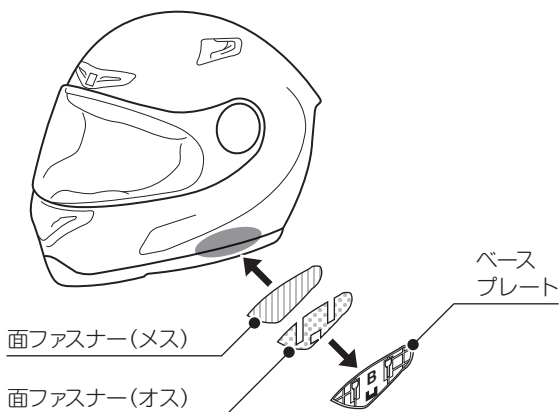
ベースプレートを取り付ける

ベースプレートの取り付け方法は2種類あります。
マイクやスピーカーケーブルの取り回しを考慮してベースプレートの位置を決めてください。

※ベースプレートはヘルメットの左側に装着してください。

02-1

面ファスナーで取り付ける場合

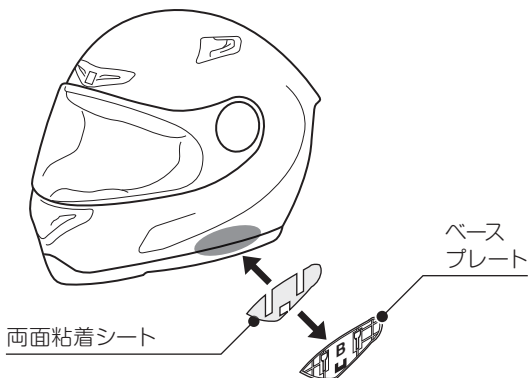


- ヘルメット貼り付け面を付属のアルコールクリーナーで脱脂します。
- ベースプレート固定用面ファスナー(オス)をベースプレート裏面に貼り付けます。
- ベースプレート固定用面ファスナー(メス)を先ほどベースプレートに貼り付けた(オス)にファスナーで貼り付けます。
- ベースプレート固定用面ファスナー(メス)をベースプレートと一緒にヘルメットへ貼り付けます。

ヘルメットへの取り付け

02-2

両面粘着シートで取り付ける場合



- ヘルメット貼り付け面を付属のアルコールクリーナーで脱脂します。
- ベースプレート裏面に両面粘着シートを貼り付けます。
- 先ほど両面粘着シートを貼り付けたベースプレートをヘルメットに貼り付けます。

注意 両面粘着シート貼り付け後は、12時間程度動かさないでください。

03

マイクを取り付ける

付属の「ブーム型」と「ケーブル型」の2種類から、ヘルメットの形状に合わせてマイクをお選びください。

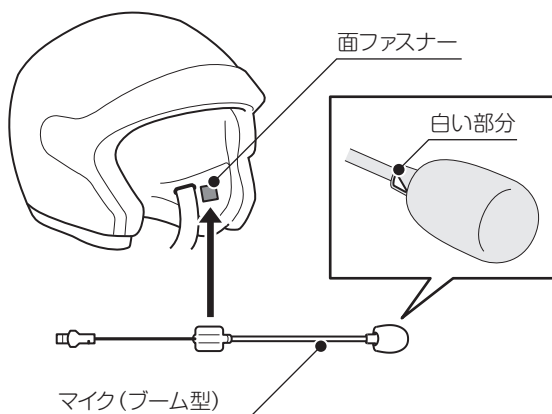
注意 ・マイク先端のスポンジは、マイクに風切音が入らないようにするものです。スポンジがない状態でマイクに風があたると、大きなノイズとなります。常にスポンジを取り付けた状態でご使用ください。

- ・可動部分やパッドのファスナー部分にワイヤーが干渉しないように注意してください。

03-1

ブーム型で取り付ける場合

オープンフェイスタイプ



- ヘルメットからチークパッドを取り外します。
- ヘルメット左側の内側に面ファスナーを貼り付け、マイク(ブーム型)を取り付けます。
- マイクの白い部分が口元に向くように調整します。
- 外したチークパッドを元通り取り付けます。
- マイクの位置は、マイクがシールド内に収まるようにし、口元から1~2cmの位置に合わせます。

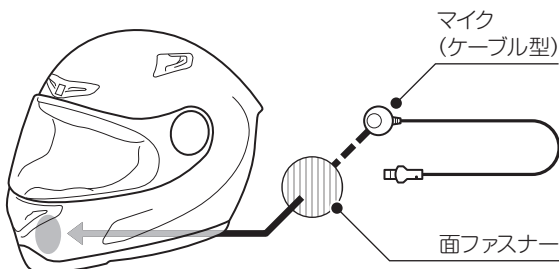
⚠️ 注意 マイク(ブーム型)の位置を調整する場合、アーム部分を無理に曲げるとマイクが外れる恐れがあります。チークパッドの取り外しができないヘルメットは、ヘルメットの外側に取り付けてください。

ヘルメットへの取り付け

03-2

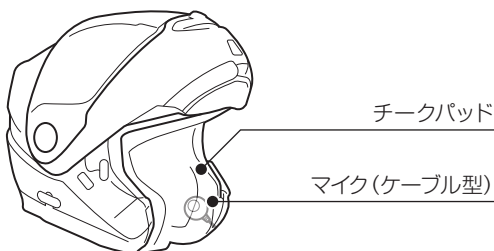
ケーブル型で取り付ける場合

フルフェイスタイプ



- チンガードの口元に近い位置に面ファスナーを貼り付け、マイク(ケーブル型)を取り付けます。
- チークパッドとヘルメットの隙間にケーブルを収納します。

システムタイプ

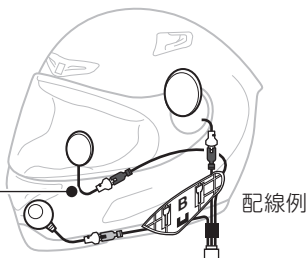


- ヘルメットからチークパッドを取り外します。
- 取り外したチークパッドの布の中にマイク(ケーブル型)を入れて、できるだけ口元に近づけます。
- 外したチークパッドを元通り取り付けます。

04

ケーブルを配線する

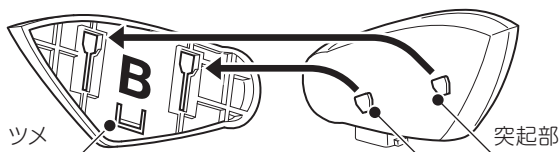
ケーブルが短い方が右側です



- 取り付け前の確認を行った時と同様に、ケーブルを配線します。→取り付け前の確認(P16)
- ヘルメットのパッドを取り外し、ヘルメットとパッドの隙間にケーブルを収納します。

05

本体ユニットを取り付ける



- 本体ユニット裏側の突起部2か所を、ベースプレートの穴に合わせて差し込み、下方向にスライドさせながら、本体ユニットをはめ込みます。※本体ユニットを取り外す際は、取り付け時とは逆の上方向にスライドさせます。
- 最後に本体ユニットへType-Cスピーカーケーブルを取り付けます(P16)。



POINT 本体ユニットがベースプレート下部のツメまでスライドされていることを確認してください。

以上でDT-E1の取り付けは終了です

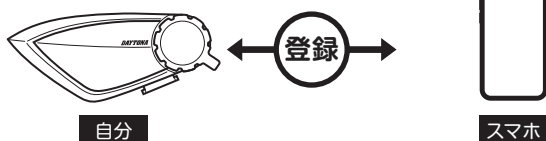
ペアリングとは

ペアリングとは

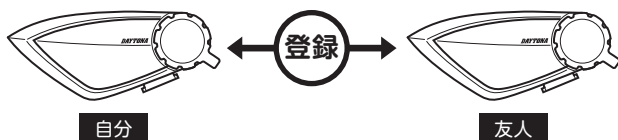
インカム・スマートフォン・ナビ・レーダーといったBluetooth機器と登録を行うことです。

一度本体の電源を切っても、ペアリング情報が残っている限り通話が可能です。

DT-E1とスマホをペアリング



DT-E1同士をペアリング



ペアリングした機器と接続する

実際に接続や通話をするには機器の種類に合わせた操作が必要です。実際のペアリング方法・接続・通話の方法は後述するページで詳しくご説明いたします。

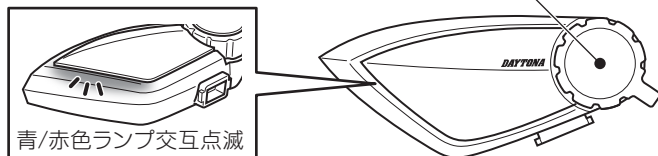
- スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする P25
- DT-E1同士でペアリングする P27
- 他社/他種のインカムとペアリングする P29
- インカム通話を開始/終了する P34

スマートフォン・ナビ・レーダーと ペアリングする

Bluetooth機器とペアリングする

- ① DT-E1の電源をONにします。→「電源のON/OFF」(P15)
- ② Mボタンを約4秒長押ししてペアリングモードにします。
- ③ ペアリングするBluetooth機器を、対象機器の説明書に従いペアリングモードにしてください。

Mボタン長押し(約4秒)



※Mボタンがうまく押せていないと、青色ランプが点滅し続けます。

POINT

- ・ ペアリングモードはキャンセルが可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度長押ししてください。
- ・ Bluetooth機器側のペアリング方法については、対象機器の説明書をご確認ください。

⚠ 注意

- ・ ペアリングが不安定な場合(自動接続されない・音楽が音飛びするなど)はオールリセット(P56)を行ってください。
- ・ ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器(DT-E1を含む)の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-E1の電源を入れなおし、接続または通話開始を行ってください。

スマートフォン・ナビ・レーダーと 接続する

ペアリング済みBluetooth機器との接続には、3つ方法があります。

①自動接続

DT-E1は電源をONにすると、ペアリング済みのBluetooth機器を数秒間自動で探して接続を行います。

- ①ペアリング済みのBluetooth機器のBluetoothをONにします。
→詳しくは対象機器の取扱説明書をご参照ください。
- ②DT-E1の電源をONにします。
→「電源のON/OFF」(P15)

②マニュアル接続

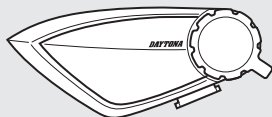
自動接続ができなかった場合、マニュアル操作で接続を行います。
DT-E1のMボタンを短く1回押します。

③Bluetooth機器側の操作で接続

自動接続およびマニュアル接続での再接続ができなかった場合、Bluetooth機器側を操作して接続を行います。
Bluetooth機器側のBluetoothをONにして、登録機器リストの中から「DT-E1」を選択します。
→詳しくは対象機器の取扱説明書をご参照ください。

POINT

通常は①自動接続で接続します。
自動接続されない場合、②マニュアル接続③Bluetooth機器側の操作で接続の方法をお試しください。Bluetooth機器と接続されると「接続しました」とアナウンスされます。



接続しました

DT-E1 (DT-01) 同士でペアリングする

DT-E1は2~4台のインカムとペアリングが可能

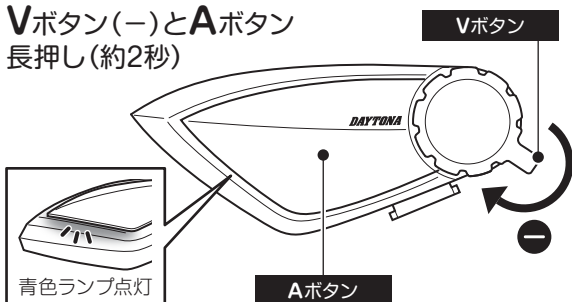
DT-01とペアリングする場合も、同様の操作でペアリングが可能です。
その場合、DT-01を「4人モード」にしてください。

01

電源を入れる

先に**Vボタン**を(-)方向に押しながら、**Aボタン**を約2秒長押しし、全てのDT-E1(DT-01)の電源をONにします。

Vボタン(-)とAボタン 長押し(約2秒)

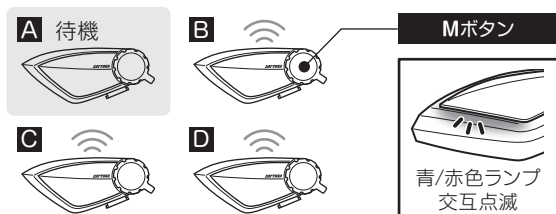


02

ペアリングを開始する(1台は待機)

下記の図のように1台は待機させ、**B**~**D**のDT-E1(DT-01)の**Mボタン**を約4秒長押しします。

※2台でのペアリングの場合、**A**+**B**となります。

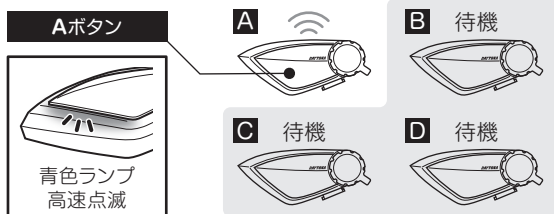


DT-E1 (DT-01) 同士でペアリングする

03

待機していた1台をペアリングする

AのDT-E1 (DT-01)の**Aボタン**を約4秒長押しします。



ペアリングモードはキャンセル可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度長押ししてください。

04

接続されるのを待つ

DT-E1(DT-01)ごとに「接続しました」とアナウンスが入ります。ペアリング所要時間は約20～60秒です。

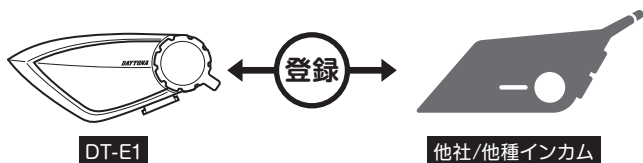


- 注意** ・ 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセット (P56) を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- ・ 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境がある場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
 - ・ ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器 (DT-E1を含む) の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-E1の電源を入れ直し、接続または通話開始を行ってください。

他社/他種インカムとペアリングする

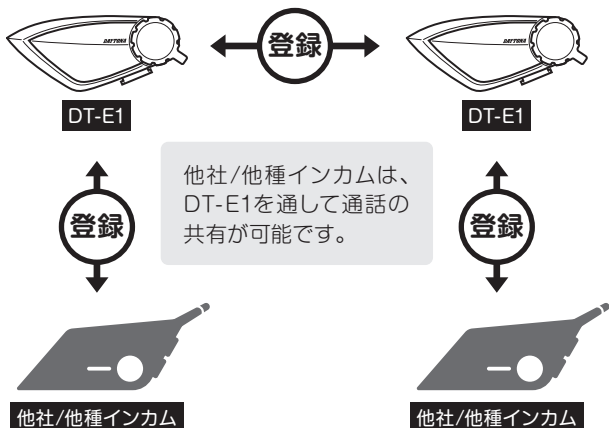
他社/他種と1対1でつなぐ →P30

1台のDT-E1に対して、他社/他種インカムを1台まで登録することができます。



他社/他種と2対2でつなぐ →P32

2台のDT-E1がそれぞれ他社/他種インカムを1台ずつペアリングし、最大で4台のインカム通話を行なうことが可能です。



※他種インカム例: COOLROBO GT/GT2/EasyTalk3

※DT-01と接続する場合はP27を参照ください。

※他社インカムとの接続・動作・通信距離・通話品質は保証できません。

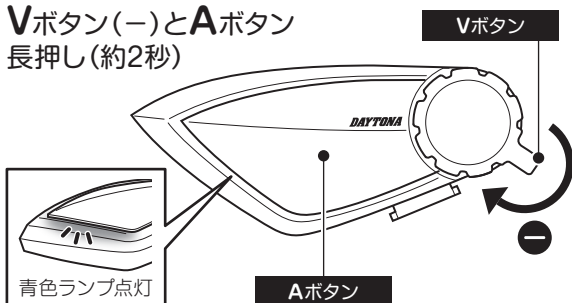
1対1 で他社/他種インカムとペアリングする

01

DT-E1の電源を入れる

先に**Vボタン**を(-)方向に押しながら、**Aボタン**を約2秒長押しし、DT-E1の電源をONにします。

Vボタン(-)と**Aボタン**
長押し(約2秒)



02

他社/他種インカムの電源を入れる

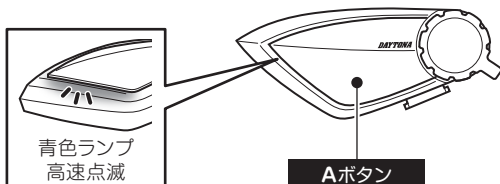
他社/他種インカムの説明書に従い操作を行ってください。

⚠️ 注意 DT-01は「DT-E1 (DT-01) 同士でペアリングする(P27)」の方法でペアリングしてください。

03

DT-E1をペアリングモードにする

DT-E1の**Aボタン**を約4秒長押しします。



04

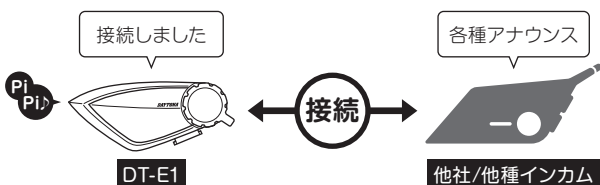
他社/他種インカムを ペアリングモードにする

他社/他種インカムの説明書に従い操作を行ってください。

05

接続されるのを待つ

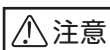
DT-E1に「接続しました」とアナウンスが入ります。



通話開始/終了の方法はP34を参照ください。



ペアリングモードはキャンセル可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度長押ししてください。

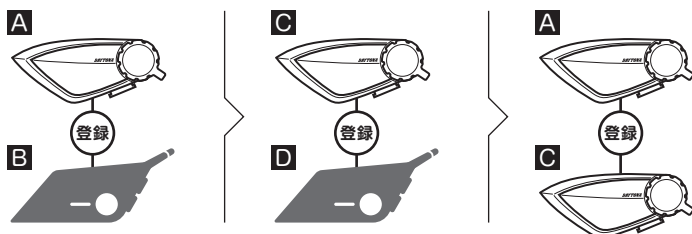


注意

- ・ 2回目以降ペアリングを行う際には、ペアリング情報のオールリセット(P56)を行ってください。リセットを行わずに新たにペアリングを行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- ・ 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境がある場所では、ペアリングに時間がかかったり、ペアリングできない場合があります。
- ・ ペアリングモード中は、接続中のBluetooth機器(DT-E1を含む)の接続が切れます。ペアリング完了後にDT-E1の電源を入れ直し、接続または通話開始を行ってください。

2対2 で他社/他種インカムとペアリングする

2対2の場合、ペアリングする順番があります。正しく接続するために順番を必ず守ってください。



01

DT-E1 **A** と他社/他種インカム **B** を
ペアリングする

ペアリング方法はP30を参照ください。

02

DT-E1 **C** と他社/他種インカム **D** を
ペアリングする

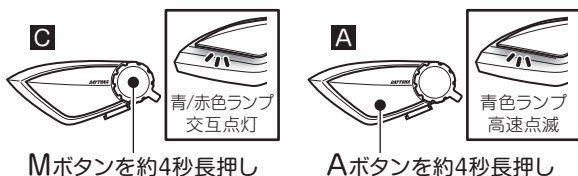
ペアリング方法はP30を参照ください。

03

DT-E1 **A** と **C** をペアリングする

DT-E1 **A** の **M** ボタンを約4秒長押しします。

DT-E1 **C** の **A** ボタンを約4秒長押しします。しばらくすると「ペアリング完了」のアナウンスが流れます。

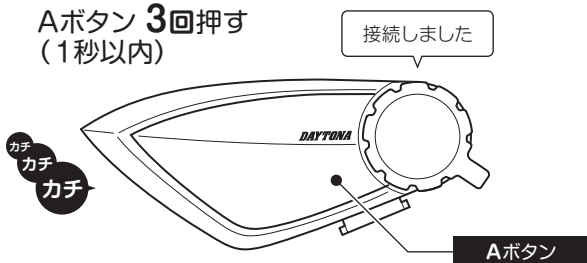


04

A B C D で通話開始する

DT-E1 **A** の **A** ボタンを3回押します。しばらくすると「接続しました」のアナウンスが流れます。

A ボタン **3** 回押す
(1秒以内)



POINT ペ어링モードはキャンセル可能です。長押ししたMボタンまたはAボタンを再度長押ししてください。

注意

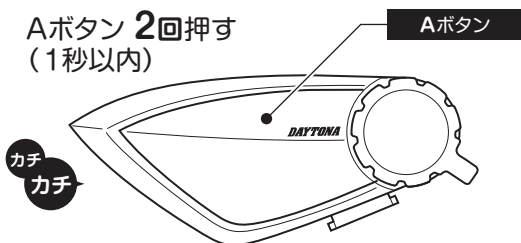
- ・ 2回目以降ペ어링を行う際には、ペ어링情報のオールリセット(P55)を行ってください。リセットを行わずに新たにペ어링を行うと、ノイズの発生や、通信が不安定になるなどの原因となります。
- ・ 近くに他のBluetooth機器やWi-fi環境がある場所では、ペ어링に時間がかかったり、ペ어링できない場合があります。
- ・ ペ어링モード中は、接続中のBluetooth機器(DT-E1を含む)の接続が切れます。ペ어링完了後にDT-E1の電源を入れ直し、接続または通話開始を行ってください。

インカム通話を開始/終了する

ペアリング済みのインカムと通話を開始するための操作です。
一度本体の電源を切っても、ペアリング情報が残っている限り通話が可能です。

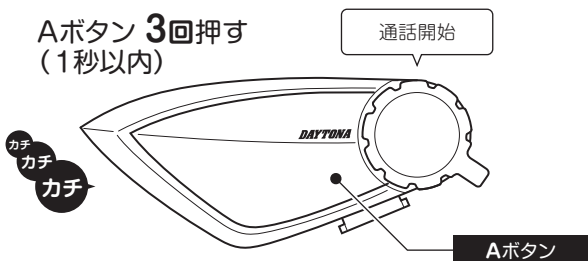
通話を開始する DT-E1(DT-01)同士の場合

ペアリング済みの1台のみ**Aボタン**を2回押します。



通話を開始する 他社/他種インカムの場合

ペアリング済みの1台のみ**Aボタン**を3回押します。
「通話開始」とアナウンスが入ります。

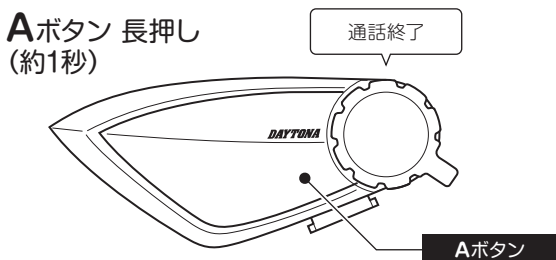


POINT

他社/他種インカムと2対2でペアリングしている場合は、P32を参考に、DT-E1**A****C**のAボタンを3回押し、他社/他種インカム**B****D**と通話を開始します。その後**A**がAボタンを2回押し**C**と通話を開始します。

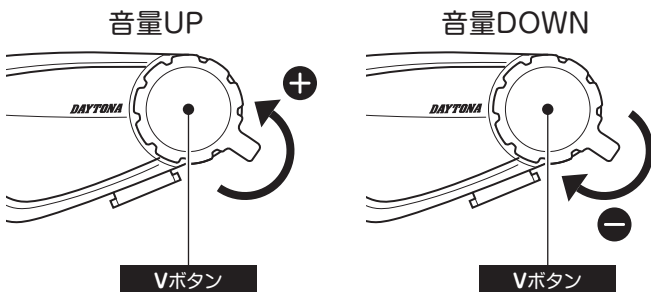
通話を終了する

Aボタンを約1秒長押しします。「通話終了」とアナウンスが流れ、通話が終了します。通話終了の操作はDT-E1同士(DT-01)や他社/他種インカム共に共通です。



通話音量の調整

通話中にVボタンを(+)方向へ短く押すと音量が上がり、(-)方向へ短く押すと音量が下がります。



インカム通話を開始/終了する

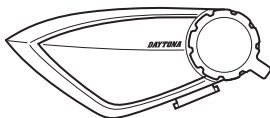
自動再接続

インカム通話中に距離が離れて通信圏外となった場合、アナウンスが流れます。**通信圏内に戻ると自動で通話に復帰**します。

- 通話圏外になった場合
「接続が切れました」
「通話を終了します」の
アナウンスが入ります。

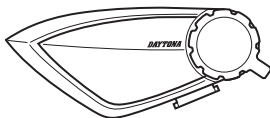
接続が切れました

通話を終了します



- 10秒以内に通信圏内に
戻らない場合
「自動再接続に失敗し
ました」のアナウンスが
入ります。

自動再接続に失敗しました

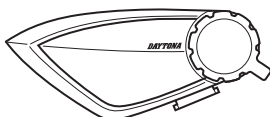


- 接続可能なDT-E1を探
し続けている間「ピポ」
というビープ音が15秒
間隔で聞こえます。

PiPo

—15秒—

PiPo



⚠ 注意

- ・ 「通話開始に時間がかかる」「接続できない」「アナウンスを繰り返す」などの動作が不安定な場合は、通話を一旦終了させるか、電源を入れ直して通話を開始してください。
- ・ 3人以上で通話している場合、通話人数が増減すると通話音量が変化する場合があります。その場合、通話音量を調整してください。(P35)
- ・ 自動再接続はDT-E1(DT-01)同士でのみ機能します。

電話を使う

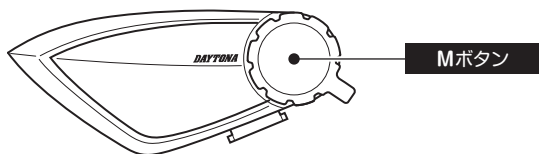
スマートフォンと接続することで、DT-E1で電話ができます。

→「スマートフォン・ナビ・レーダーとペアリングする」(P25)

→「スマートフォン・ナビ・レーダーと接続する」(P26)

操作方法

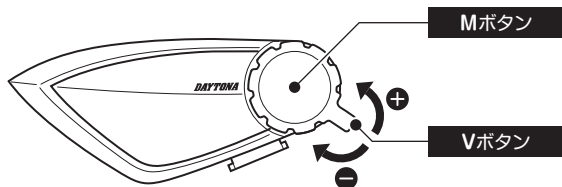
- ・電話に出る：着信音が鳴ったら**Mボタン**を1回押して通話開始。
- ・電話を切る：通話中に**Mボタン**を1回押す。
- ・着信拒否：着信音が鳴っている時に、**Mボタン**を約3秒長押し。



着信設定

着信があったときに自動・手動のどちらで通話を開始するかを設定できます。

- ・**手動着信設定**：電源がONの時に**Mボタン**と**Vボタン(-)**を同時に約8秒長押し※工場出荷時設定。
- ・**自動着信設定**：電源がONの時に**Mボタン**と**Vボタン(-)**を同時に約8秒長押し※着信後10秒後に自動で通話が始まります。



POINT

インカム通話中に電話に出た場合、一時的にインカム通話は終了します。電話が終了すると自動でインカム通話に復帰します。

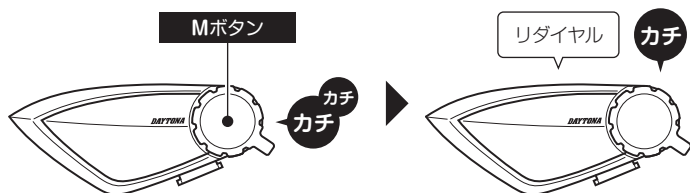
電話を使う

リダイヤル

スマートフォンの最終発信履歴に電話をかけることができます。

※着信履歴からの発信はできません。

- ・ **Mボタンを2回**押します。
 - ・ 「リダイヤル」のアナウンス後、5秒以内にもう**1度Mボタン**を押します。
- ※5秒以内にMボタンを押さない場合、リダイヤルがキャンセルされます。

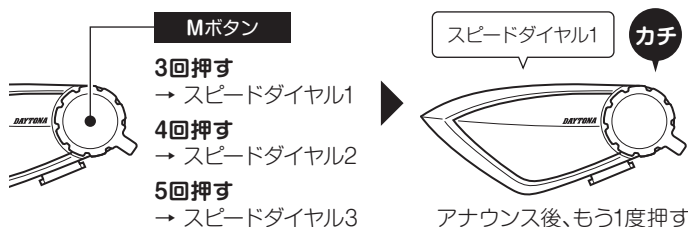


スピードダイヤル

パソコンであらかじめ登録した電話番号に電話をかけることができます。
「スピードダイヤル設定」P51※別途設定ツールが必要です(P47)。

- ・ あらかじめ登録したスピードダイヤル番号に合わせて**Mボタンを3～5回**押します。
- ・ 「スピードダイヤル1～3」のアナウンス後、**5秒以内にもう1度Mボタン**を押します。

※5秒以内にMボタンを押さない場合はスピードダイヤルがキャンセルされます。



音楽を楽しむ

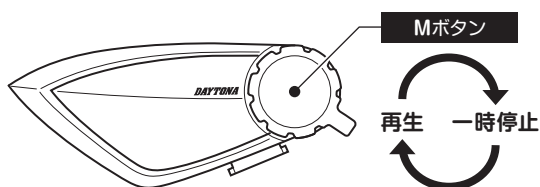
DT-E1をスマートフォンなどに接続し、高音質なサウンドをワイヤレスで聴くことができます。

→「スマートフォン・ナビ・レーダーとペアリングする」(P25)

→「スマートフォン・ナビ・レーダーと接続する」(P26)

再生/一時停止

Mボタンを1回押すごとに「再生」⇔「一時停止」が切り替わります。

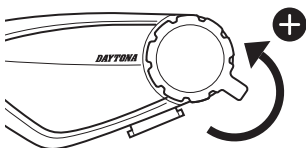


音量UP/曲送り

音楽再生中にVボタンを(+)方向へ短く押すと音量が上がり、(-)方向へ短く押すと音量が下がります。

音量UP : 短く押す

曲送り : 約2秒長押し

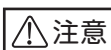
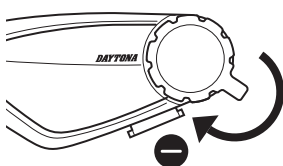


音量DOWN/曲戻し

音楽再生中にVボタンを(-)方向へ約2秒長押しすることで曲送り、(-)方向へ約2秒長押しすることで曲戻しができます。

音量DOWN : 短く押す

曲戻し : 約2秒長押し



Mボタンを操作しても音楽が再生されない場合は、一度Bluetooth機器側で再生を行ってください。

ナビやレーダーの音声を聴く

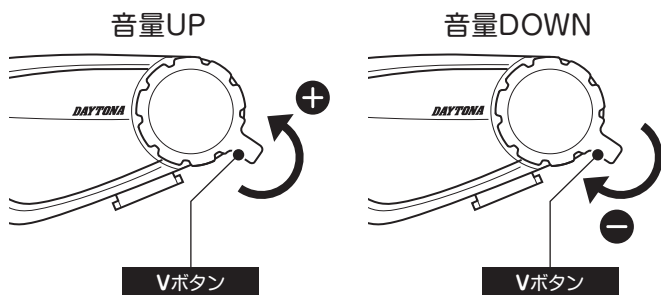
ペアリング済みのバイクナビ、バイクレーダーの音声案内をDT-E1で聴くことができます。

→「スマートフォン・ナビ・レーダーとペアリングする」(P25)

→「スマートフォン・ナビ・レーダーと接続する」(P26)

音量の変更

ナビやバイクレーダーで音声案内中にVボタンを(+)方向へ短く押すと音量が上がり、(-)方向へ短く押すと音量が下がります。



⚠ 注意

- ・ナビやレーダーによっては、DT-E1で音量調整ができない場合があります。直接ナビやレーダーで音量調整を行ってください。
- ・ナビやレーダーの音声案内が聞こえない場合は、ナビやレーダー側で音声案内が開始されていることを確認してください。ナビやレーダーの詳しい操作方法については、対象機器の取扱説明書をご確認ください。

バックグラウンドミュージック機能

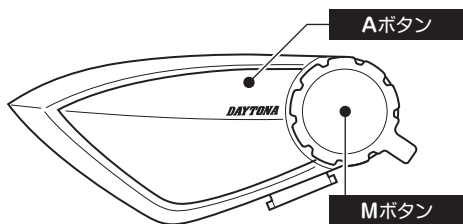
音楽やナビの音声案内を聴きながら、インカム通話をすることができます。

→「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

→「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

→「インカム通話を開始/終了する」(P34)

- ペアリング済みのスマートフォンまたはミュージックプレーヤーをDT-E1に接続します。
- DT-E1の**Mボタン**を1回押し音楽を再生します。
- Aボタン**でインカム通話を開始します。



DT-E1を2台でペアリングしている場合、バックグラウンドミュージックではなくミュージックシェア機能が起動します。



POINT

インカム通話を開始すると、バックグラウンドミュージック機能により、あらかじめ設定した音量になります。バックグラウンドミュージック機能を使用する場合は、あらかじめ音量を設定しておくことをお勧めします。→「A2DP音量設定」(P52)
※別途設定ツールが必要です。(P47)

⚠ 注意

- ・ Mボタンを操作しても音楽が再生されない場合は、一度Bluetooth機器側で再生を行ってください。
- ・ 通話開始から数秒間の間、相手の声が聞こえない場合があります。
- ・ 再生される音楽が断続的に途切れる場合は、再生を一度停止し、もう一度再生してください。
- ・ バックグラウンドミュージック機能使用中に、通信状態の影響により通話音声や音楽が乱れる場合があります。

バックグラウンドミュージック機能

バックグラウンドミュージック機能

使用時の音量調整

バックグラウンドミュージック機能使用時に、インカム通話の音量と音楽の音量のバランスをそれぞれ独立して調整することができます。

●音楽の音量だけを調整したい場合

パソコンで「DT-E1設定ツール」の「A2DP音量設定」で音量を調整します。→「A2DP音量設定」(P52)

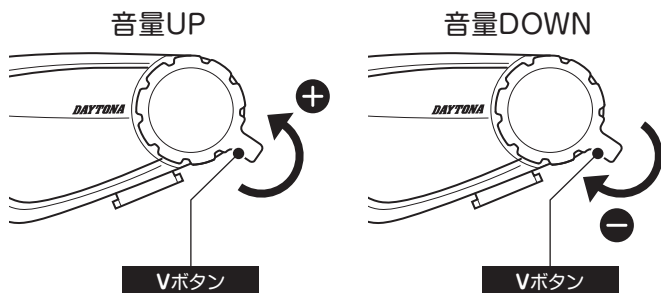
※別途設定ツールが必要です。(P47)

●インカム通話の音量だけを調整したい場合

Mボタンを1回押して音楽を一時停止し、通話のみの状態でVボタンを使用して音量調整します。

●音楽・インカム通話両方の音量を同時に調整したい場合

インカム通話中かつ音楽が聞こえている状態で、Vボタンを使用して音量調整します。

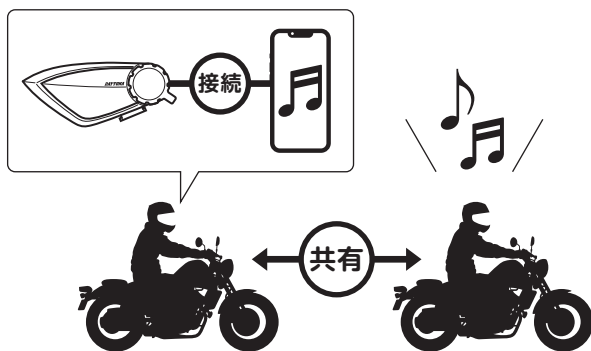


ミュージックシェア機能

スマートフォンまたはミュージックプレーヤーからDT-E1に再生されている曲を、他のDT-E1と共有できます。

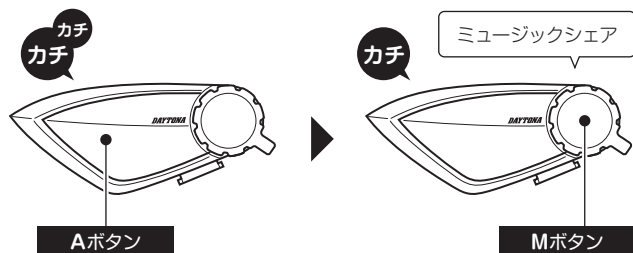
→「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

→「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)



DT-E1を2台で接続している場合のみ、この機能を使用できます。

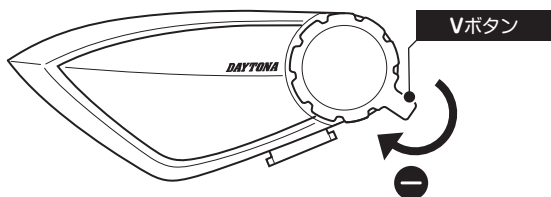
- ペアリング済みのスマートフォンまたはミュージックプレーヤーをDT-E1に接続します。
- **Aボタンを2回**押して通話を開始します。
- ミュージックプレーヤーまたはスマートフォンが接続されているDT-E1の**Mボタンを1回**押します。「ミュージックシェア」とアナウンスが入り音楽がシェアされます。



ミュージックシェア機能

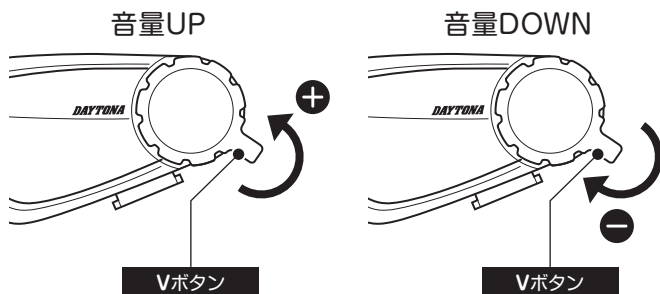
ミュージックシェアを終了させる

音楽プレイヤーまたはスマートフォンが接続されているDT-E1の**Vボタン**を(-)方向に約5秒長押しします。「ミュージックシェア終了」とアナウンスが入ります。



ミュージックシェア機能使用時の音量調整

ミュージックシェア機能使用時に、音楽の音量を調整することができます。



⚠ 注意

- ・ミュージックシェア機能の使用中は、インカム通話はできません。
- ・再生される音楽が断続的に途切れる場合は、再生を一度停止し再度再生してください。
- ・ミュージックシェア機能使用中に通信状態の影響で音声や音楽が乱れる場合があります。

音声認識機能 (Siri)

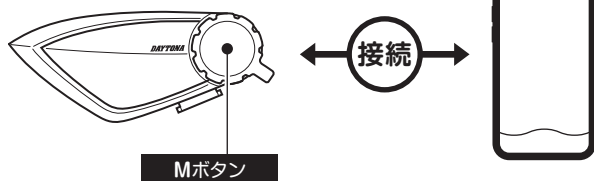
DT-E1にiPhoneをペアリングすることにより、Siriを起動させ音声検索が使用できます。

→「スマートフォン、ナビ、レーダーとペアリングする」(P25)

→「スマートフォン、ナビ、レーダーと接続する」(P26)

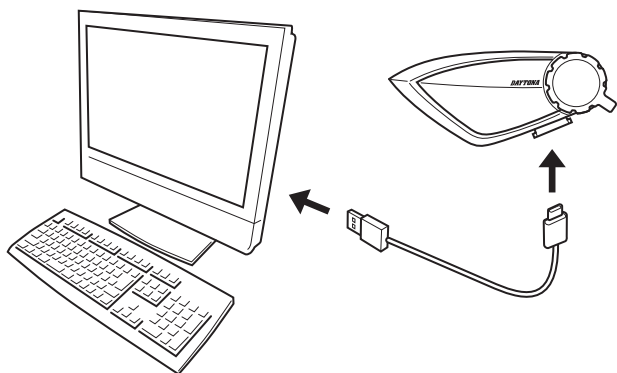
- ペアリング済みのiPhoneを接続します。
- iPhoneが接続されているDT-E1の**Mボタン**を約**2秒長押し**すると、Siriが起動します。

Mボタン長押し(約2秒)



ファームウェアアップデートと 機能調整

弊社WEBサイトより「DT-E1設定ツール」をダウンロードして、ファームウェアアップデートと機能調整を行うことができます。



- 設定ツールダウンロード P47
- ファームウェアダウンロード P48
- ファームウェアアップデート P49
- 機能調整 P51

POINT

ダウンロード・アップデート方法は、
HPや動画でも解説しています。
<https://daytona-talk.com/dte1/>

DT-E1

検索



! 注意

【動作可能環境】OS: Windows10 インターネット接続
※Mac OS / Windows 8.0、8.1はご利用できません。
(2021年12月現在)

DT-E1 設定ツールダウンロード

確認事項

ご使用前の準備

基本的な使い方

便利な使い方

便利な機能

アップデート

その他

01

WEBサイトのDT-E1ページへアクセス

https://daytona-talk.com/dte1/



02

ファームウェアのページから、「DT-E1設定ツール」をダウンロード



ダウンロード後は、「PROCESS.01」手順に沿ってインストールしてください。

ファームウェアダウンロード

01

WEBサイトのDT-E1ページへアクセス

https://daytona-talk.com/dte1/



02

ファームウェアのページから、
「最新バージョン」をダウンロード



ファームウェアアップデート

解説動画はコチラ

DT-E1をパソコンへ接続し、インストールしたDT-E1設定ツール「DT-E1 Configure Tool」をダブルクリックしてください。

設定画面が表示されたら、下記の手順に沿ってアップデートしてください。



確認事項

ご使用前の準備

基本的な使い方

便利な使い方

便利な機能

アップデート

その他

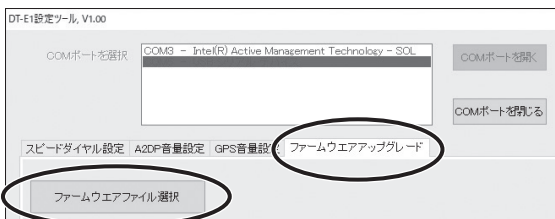
01

COMポートを開く



02

ファームウェアアップデート → ファームウェアファイル選択



03

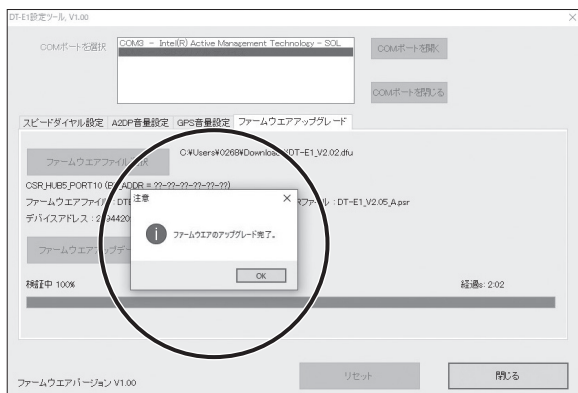
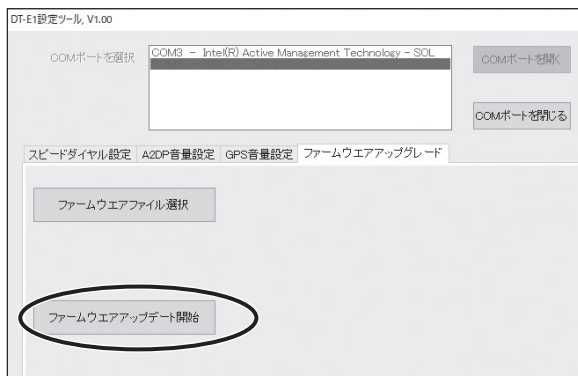
ダウンロードしたファイルを開く



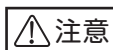
ファームウェアアップデート

04

ファームウェアアップデート開始



アップデート完了まで約3分程お待ちください。



アップデート中は絶対にUSBケーブルを取り外さないでください。

機能調整

スピードダイヤル設定

3件までの電話番号を登録することができます。

※番号はハイフンなしで入力してください。

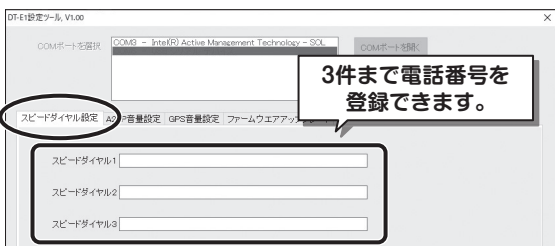
01

COMポートを開く



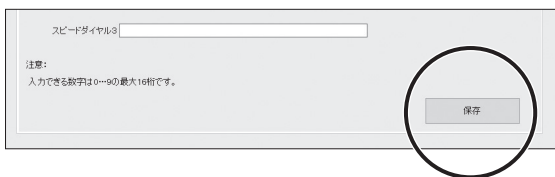
02

スピードダイヤル設定 → 電話番号を入力



03

保存する



機能調整

A2DP音量設定

バックグラウンドミュージック機能の音量を調整することができます。

01

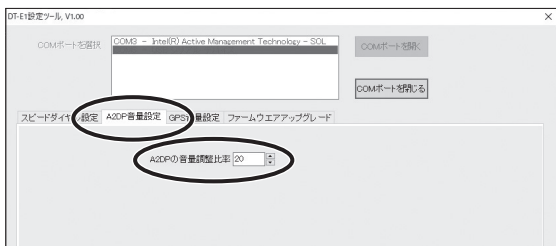
COMポートを開く



02

A2DP音量設定

→ 1~100までの数字を設定

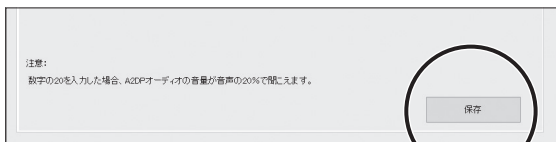


POINT

数字を20にした場合、音楽の音量がインカム通話音量に対して20%となります。

03

保存する



GPS音量設定

インカム通話中のナビやレーダーの音量を調整することができます。

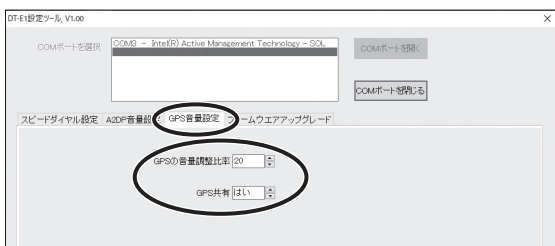
01

COMポートを開く



02

GPS音量設定 → 1~100までの数字を設定 → GPS共有を設定

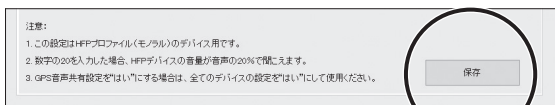


POINT

数字を20にした場合、ナビやレーダーの音量がインカム通話音量に対して20%となります。GPS共有を「はい」にするとペアリングしている他のインカムに音声案内が共有されます。

03

保存する



注意:

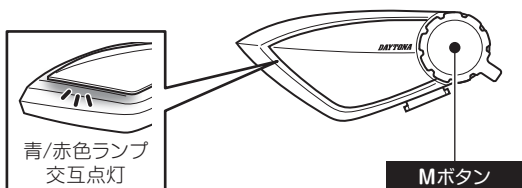
1. この設定はHFPプロファイル(モナラル)のデバイス用です。
2. 数字の20を入力した場合、HFPデバイスの音量が音声の20%で聞こえます。
3. GPS音声共有設定を「はい」にする場合は、全てのデバイスの設定を「はい」にして使用ください。

アナウンス音量調整

「電源が入りました」「通話開始」などのアナウンス音量を調整できます。

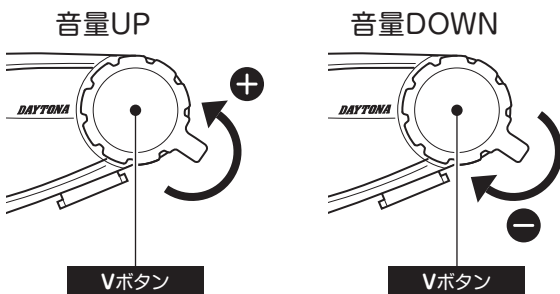
01

電源ONの状態、Mボタン長押し



02

Vボタンで音量調整



03

電源をOFFにして設定完了

POINT

Vボタンを1回操作するごとに操作音になります。上限または下限までいくと「ピー」という操作音になります。

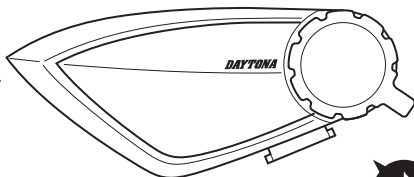
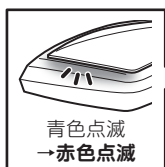
バッテリー残量のアナウンス

電源をON/ OFFすると内蔵バッテリーの残量を音声で案内します。

音声案内	内蔵バッテリーの状態
バッテリー残量はフルです	約12時間程度 使用可能です
バッテリー残量は80%以上です	約10時間程度 使用可能です
バッテリー残量は50%以上です	約5時間程度 使用可能です
バッテリー残量は約25%以上です	約2時間程度 使用可能です 充電してからの使用をおすすめします
バッテリー残量は約10%以上です	充電が必要です 充電を行ってください
バッテリー残量はゼロです	充電が必要です 充電を行ってください

POINT

バッテリー残量が少なくなると、LEDランプが青色点滅から赤色点滅に変わり、ピープ音でもお知らせします。

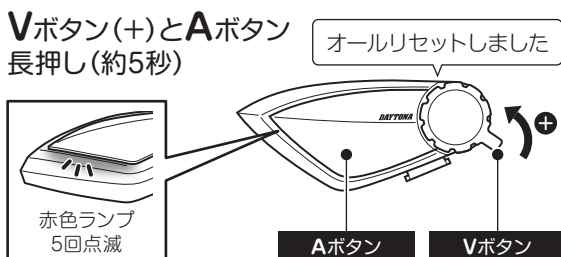


各種リセット方法

オールリセット

登録されている全てのペアリング情報を削除できます。

●電源OFFの状態、Vボタン(+)方向へ押しながらAボタンを約5秒長押しします。「オールリセットしました」とアナウンスが流れます。

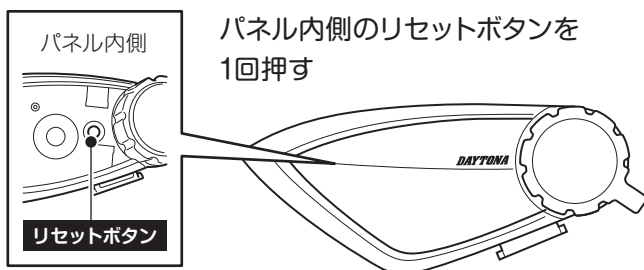


POINT

接続が不安定な場合や音声ノイズが多い場合、オールリセットをする事で症状が改善することがあります。

強制終了

フリーズ状態となりボタン操作ができなくなった場合などに、強制的に本体の電源を切ることができます。※ペアリング情報は削除されません。



※Aボタンカバーの外し方はP58を参照してください。

プロフィールとは

プロフィールとは接続方式の名称です。DT-E1にスマートフォン・ナビ・レーダー・他社インカムといったBluetooth機器を接続する場合、下記の接続方式があります。

接続方式名	使用されている機器	主な用途
HSP/HFP	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビ ・レーダー ・スマートフォン ・他社インカム など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビやレーダー音声 ・スマートフォンの電話 ・他社/他種インカムとの通話など
A2DP/AVRCP	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビ ・スマートフォン ・ミュージックプレーヤー など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナビの音声 ・スマホやアプリの音声・音楽 ・ミュージックプレーヤーの音楽など

同時に接続できるプロフィール数

DT-E1はHSP/HFPを接続できるポート(接続口)が2個とA2DP/AVRCPを接続できるポートが1個、合計3個のポートがあります。

- ポート1：HSP/HFP
- ポート2：A2DP/AVRCP
- ポート3：HSP/HFP



※スマートフォンの場合、HSP/HFPとA2DP/AVRCPのポートを各一つ使用します。

オプション品・補修品

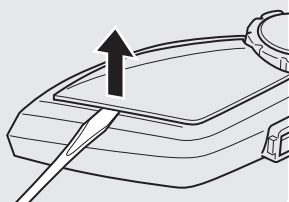
DT-E1をより快適にご使用頂くためのオプション品ならびに修理に使用する補修パーツをご紹介します。

商品名(オプション品)	商品番号
DT-E1オプションフェイスパネル ブラック	15107
DT-E1オプションフェイスパネル ホワイト	15109
DT-E1オプションフェイスパネル レッド	15110
DT-E1オプションフェイスパネル ブルー	15112
DT-E1オプションフェイスパネル イエロー	15113
DT-E1オプションフェイスパネル ライムグリーン	15114
DT-E1オプションフェイスパネル オレンジ	15115
DT-E1オプションフェイスパネル ブリリアントブラック	15116
DT-E1オプションフェイスパネル カーボン調	15117
超スリム 高音質スピーカー	17596



【Aボタンカバーパネル(フェイスパネル)の取り外し方法】

Aボタンカバーパネルと本体の隙間(LEDランプ発光部)に、マイナスドライバーなどを差し込み、パネルを上側へ取り外します。※本体に傷が付かないように注意してください。



商品名(補修品)	商品番号	構成部品(P12参照)
ベースプレートB ※1	23326	②×1
補修粘着シール5枚	15131	③×5
ベースプレート用 面ファスナー(オスメス)	17114	④(オス メス セット)×2
マイク(ブーム型)	15119	⑤×1 ⑥×1
ブーム型 マイク固定用面ファスナー	17119	⑥×2
ブーム型 補修マイクスポンジ	98706	マイクスポンジ(ブーム型用)×1
マイク(ケーブル型)	98220	⑦×1 ⑧×1
ケーブル型 マイク固定用面ファスナー	17120	⑧×2
ケーブル型 補修マイクスポンジ	98705	マイクスポンジ (ワイヤー型用)×1 ⑧×1
Type-C スピーカーケーブル	15124	⑨×1
スピーカー	15118	⑩×1 ⑪×1 ⑫×1(片側分)
スピーカー固定用 面ファスナー	17117	⑪×4
USBケーブル Type-C	98223	⑬×1
スピーカー補修スポンジ	98707	スピーカースポンジ×1(両側分)
スピーカー 位置調整パッド	17879	⑫×4
ヘルメット マウントセットB ※1	23327	②×1 ③×1 ④×1 ⑥×1 ⑧×1 ⑪×2 ⑫×2

2023年以降のモデルには本体裏のシリアルシールおよびベースプレートに「B」と記載※1されています。「B」の記載のあるモデルと記載のないモデルは本体とベースプレートの互換性が無く取り付けできません。

LED点灯パターンと操作

動作	LED	操作
電源ON	青:点灯	V(-)ボタンと Aボタン約2秒長押し
電源OFF	赤:点灯	V(-)ボタンと Aボタン約2秒長押し
Bluetooth機器 未接続待機状態	青:約3秒間隔 で2回点滅	—
Bluetooth機器 接続待機状態	青:約3秒間隔 で3回点滅	—
インカムペアリング (1台のみ)	青:高速点滅	電源ONの状態 でAボタン約4秒長押し
インカムペアリング (1台以外) Bluetooth機器と ペアリング(スマートフォン・ リーダー)	赤青:交互 点滅	電源ONの状態 でMボタン約4秒長押し
インカムペアリング完了	青:約3秒間隔 で2回点滅 緑:1回点滅	—
電話着信	赤:高速点滅	Mボタン短押し
電話通話中	青:約3秒間隔 で1回点滅	—
ミュージック再生	—	Mボタン短押し
ミュージック停止	—	Mボタン短押し

動作	LED	操作
ミュージック曲送り	—	V+ボタン約2秒長押し
ミュージック曲戻し	—	V-ボタン約2秒長押し
ミュージック再生中	青:約3秒間隔 で1回点滅	—
インカム通話開始	—	DT-E1/01はAボタン2 回押し、他社/他種イン カムはAボタン3回押し
インカム通話終了	—	Aボタン約1秒長押し
インカム通話中	青:2~3回点滅 緑:1~2回点滅	—
バックグラウンド ミュージック	青:1回点滅 緑:1回点滅	ミュージック再生後に Aボタン2回押しで インカム通話開始
ミュージックシェア	青:1回点滅	DT-E1を2台で通話中 にMボタン短押しで ミュージック再生
ミュージックシェア終了	青:3回点滅	V-ボタン約5秒長押し
オールリセット	赤:5回点滅	電源OFFの状態 でV(+) ボタンとAボタン 約5秒長押し
充電中	赤:点灯	—
満充電	青:点灯	—

故障かな?と思ったら

使用中に異常が発生した場合は、弊社WEBサイトにアクセスしQ&Aをご確認ください。



01

WEBサイトのDT-E1ページへアクセス

<https://daytona-talk.com/dte1/>



02

症状に合わせてQ&Aを確認



その他ご不明な点がございましたら、お求めの販売店または本誌裏表紙記載の弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

商品仕様

本体寸法	L96mm×W43.5mm×H26.5mm
重量	54g
スピーカーサイズ	φ40×D11mm
作動温度	-10℃～50℃
防水防塵性能	IP67相当
最大通信距離	800m(1対1通話時)
最大通信人数	4人
最大連続通話時間	12時間
電源	充電式リチウムイオンバッテリー
電源容量	3.7V 600mA
充電端子	USB Type-C
充電時間	2.5時間(5V-1.0A)
Bluetoothバージョン	Ver 5.0
Bluetooth送信出力	Class 1
認証	TELEC

さくいん

A	A2DP/AVRCP	P57
	A2DP音量設定	P52
	Aボタン	P11
	Aボタンカバーパネル	P11
	Aボタンカバーパネル取り外し	P58
C	COOL ROBO GT/GT2/EasyTalk	P29
D	DT-01とペアリングする	P27
G	GPS音量設定	P53
H	HSP/ HFP	P57
L	LEDランプ	P11
M	Mボタン	P11
U	USB TypeCケーブル	P13
V	Vボタン	P11
あ	インカム通話の音量だけを調整したい	P35/42
	オールリセット	P56
	音楽の音量だけを調整したい	P42
	音声検索	P45
か	強制終了	P56
	曲戻し/曲送り	P39
	ケーブル型で取り付ける	P22
	ケーブル接続端子	P11
	ケーブルを配線する	P23
さ	再生/一時停止	P39
	自動再接続	P36
	自動接続	P26
	自動着信	P37
	手動着信	P37
	スピーカー位置調整用パッド	P13
	スピーカーケーブル	P13

さ	スピーカー固定用面ファスナー(メス)	P13
	スピーカーを取り付ける	P18
	スピードダイヤル	P38
	スピードダイヤル設定	P51
た	着信設定	P37
	電源アダプター	P14
	動作可能環境OS	P46
	同時に接続できるプロファイル	P57
は	ビープ音	P55
	ブーム型で取り付ける	P21
	Bluetooth機器	P25
	ベースプレートB	P12
	ベースプレート固定用ファスナー(オスメス)	P12
	ベースプレート固定用両面粘着シート	P12
	ヘルメットスピーカー	P13
	本体ユニット	P12
	本体ユニットを取り付ける	P23
	本体ユニットを取り外す	P23
ま	マイク(ケーブル型)	P12
	マイク(ケーブル型)固定用面ファスナー	P13
	マイク(ブーム型)	P12
	マイク(ブーム型)固定用面ファスナー(メス)	P12
	マイクを取り付ける	P20
	マニュアル接続	P26
	面ファスナーで取り付ける場合	P19
ら	リセットボタン	P11
	リダイヤル	P38
	リチウムイオンバッテリー	P08
	両面粘着シートで取り付ける場合	P20

保証規定

1:保証期間:保証修理の期間は、お買い上げいただいた日から1年間とします。

2:お客様にお守りいただく事項:当社商品を安全快適にご使用いただくためには、お客様の正しい使用と点検、整備が必要です。次のことを必ずお守り下さい。守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますのであらかじめ、ご了承ください。

(1)車両本体メーカー発行のサービスマニュアルに示された取扱い方法及び当社の取扱説明書に示す取付け・取扱い方法にしたがって使用すること。

(2)運行前点検および保守、整備を実施すること。

(3)定期交換部品、及び油脂類を指定どおり交換すること。

3:保証できない事項:

(1)次に示す事項は保証修理いたしません。

①経時変化あるいは使用損耗による不具合。

②一般に品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象。(音、振動、オイルのにじみ等)

③地震、台風、水害などの天災、事故、および火災に起因する不具合。

④煤煙、薬品、鳥糞、塩害等に起因する不具合。

⑤法令に違反する改造及び当社が認めていない改造。(適合車種以外への取付等)

⑥通常の注意で発見処置できたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。

⑦前記2「お客様にお守りいただく事項」を守らなかったこと起因する不具合。

⑧浸水による故障

⑨本体ユニット以外の消耗品

(2)次に示す費用は負担いたしません。

①発生した不具合によって破損した本品以外の部品代金、修理工賃、整備等の費用。

②商品を検査のためお預かりする際に発生する脱着工賃等。

③お車を使用できなかった事による不便さ及び損失等。(電話代、レンタカー代、運送代、機会損失等。)

④この保証書に示す以外の費用、補償等。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限ります。
個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。
3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理のお受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



転載禁止 本取扱説明書の内容の一部、または全ての無断転載を禁止

取扱説明書は、大切に保管してください。

東証JASDAQ上場
株式会社 **デイトナ**
〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805
<https://www.daytona.co.jp>